

5. 構成団体のプロフィール

私たち、構成団体のプロフィールを紹介します。(敬称略、50音順で掲載)

| | |
|---------------------|-------|
| NPO法人 ア・ピース・オブ・コスモス | ・・・23 |
| うどの地区花づくりグループ | ・・・24 |
| 大内山婦人会ピュアグリーン | ・・・25 |
| 熊野川体感塾 | ・・・26 |
| 熊野古道花街道／花の窟花街道 | ・・・27 |
| 古道魚まち歩観会 | ・・・28 |
| 膳 | ・・・29 |
| 東紀州地域活性化事業推進協議会 | ・・・30 |
| 風伝峠部会 | ・・・31 |
| 馬越峠・尾鷲市部会 | ・・・32 |
| 馬越峠・海山部会 | ・・・33 |
| 松本峠・熊野市部会 | ・・・34 |
| 三重県トラック協会南紀支部 | ・・・35 |



◆ 熊野川を下る三反帆の川舟

● 設立経緯・経過

「a piece of cosmos」、これは“宇宙の一片”
という意味。ひとりの小さな力が集まって、やが
て大きな輪に・・・そんな思いを込めて設立。

活動開始 : 平成7年12月
(アジサイの植栽大会は平成8年度から実施)
実施頻度 : 4回/年
現在会員数 : 25名



国道42号沿いのアジサイ

● 主な活動・PR等

○NPO法人取得記念講演会を平成18年10月20日に開催しました。

○地域づくりは人づくりの観点で元ウズベキスタン大使、現総理補佐官の中山恭子氏を招いて「真の国際人とは」というテーマで講演頂きました。「日本古来の価値観に自信を持って子供達や来訪者に伝えてください」と言われた言葉に感銘しました。



中山恭子氏の講演

○環境美化を目的にアジサイの植栽、除草、清掃活動を行っています。

○熊野古道を訪れる人々や国道42号を通るドライバーたちにアジサイが咲いている美しい道の景観で心に潤いを持ってもらうことを目指しています。

○平成16年に紀勢国道事務所から道路美化の感謝状が贈られ、活動に参加してくれた多くの人達と喜びを分かち合いました。



アジサイによる美化活動

うどの地区花づくりグループ

● 設立経緯・経過

活動(花の植栽、管理、清掃)を通して地域の思いやりの輪が広がる事を目標としています。

活動開始：平成 15 年 3 月 13 日
(うどのそん花づくりグループとしては、
平成 13 年夏より実施)
実施頻度：2 回/月、水やりは毎日交代
現在会員数：47 名



「うどの地区花づくりグループ」のメンバー

● 主な活動・PR等

○駅前花壇をはじめ町内 20 箇所の花壇を管理している。苗自体を購入せず、全て種から育てている。

○花の手入れと清掃は毎月 1 日、15 日で毎日の水やりはカレンダー方式で全員が参加。

○平成 18 年 8 月に紀勢国道事務所より、道路の植栽帯の管理や清掃等ボランティア活動に尽力したとして感謝状を授与された。

○植栽帯においてもパンジー・ピオラ・チューリップなど様々な品種の植栽、管理を行っている。

○情報共有に向けて、「花便り」を年間 10 回程度発行している。

○地域との連携としては、熊野市の「花街道」との交流、新宮市との交流が始まっている。



花壇の管理作業の様子



種から育てる花の育苗の様子



チューリップも混植された華やかな花壇

大内山婦人会ピュアグリーン

● 設立経緯・経過

国道 42 号をドライバーの皆さんに気持ちよく走って欲しい。そんな思いで清掃と花の植栽を行っています。

活動開始：平成 14 年 11 月 18 日

実施頻度：1 回/月

(個人ボランティアによる活動もあり)

現在会員数：27 名



● 主な活動・PR等

○自分たちの住んでいる所を自分たちの手できれいにし、快適な道路にすることを目的に、荷坂峠広場の清掃と国道 42 号沿線の花壇において花の植栽管理を行っている。

○花植えは、年に 2 回実施しており、5 月の上旬には、マリーゴールド、サルビアを、10 月末から 11 月上旬には、パンジー、葉牡丹を植えている。



紀勢国道事務所広報誌「キーロード」より



紀勢国道事務所広報誌「キーロード」より



国道 4 2 号交差点部の花壇



国道 4 2 号沿線部の花壇

熊野川体感塾

(3月17日まで部会活動は、「熊野川部会」として活動)

● テーマ

“川の古道 / 世界遺産・熊野川”の魅力を
まるごと体感できる交流空間づくり

● 主な活動

平成16年度

- 熊野川部会(まちづくり団体)の設立
- 交流空間整備計画の策定
 - ・川の古道である世界遺産「熊野川」沿いのまちづくり計画を策定。

平成17年度

- モニターツアーの実施
 - ・熊野川を川舟により川下り、熊野古道の散策、浅里の里を中心としたもてなしを体験してもらうモニターツアーを実施
- まち歩きマップの検討・作成
 - ・川下り、浅里の里を中心としたモデルコースのまち歩きマップ
- 地域づくり先進地ベンチマーキングの実施
 - ・長野県軽井沢ピッキオ、奈良県川上村、保津川などをベンチマーキング
- 環境美化活動の実施
 - ・環境美化活動として熊野川のゴミ拾いを実施

平成18年度

- モニターツアーの実施
- 川下りの事業化検討(地域づくり任意団体「熊野川体感塾」を3月17日に設立)
- 地域づくり先進地ベンチマーキング(四万十川など)の実施



モニターツアーの様子

熊野古道花街道 / 花の窟花街道

● 設立経緯・経過

国道の改修に伴い住民の要望を受けて国土交通省が歩道に延長 3km の花壇を整備しました。花壇数は長短合わせて 70 箇所。花づくりボランティアは自宅に近く、体力に合った場所を選び、自分の花壇として担当する里親制度を採用しています。2002 年にボランティアグループ「熊野古道花街道」と 2003 年に「花の窟花街道」、「七里御浜花街道」の 3 つが誕生し、6 年目を迎えて子供たちも大人以上の戦力です。

現在会員数：150名



天然記念物「獅子岩」周辺の植え込み

● 主な活動・PR等

○台風の通り道であり、全国一の降雨量の熊野で、潮風、排気ガス、花火の人出など、花には厳しい条件ですが、人にとっても毎日の花の手入れや周辺の清掃は重労働です。

○しかし、花壇が出来てからのゴミ捨ての減少、目障りな物の撤去など、人々の著しい変身ぶりがボランティアの大きな喜びとパワーになっています。

○植え替えは年2回。手入れ、清掃は毎日、あるいは各自の都合にあわせて行っています。



歩道と分離帯の両側にある花壇

○「花の窟」は「獅子岩」と共に世界遺産に登録されています。

○「花の窟神社」は、日本最古の神社で熊野古道を訪れる多くの人が必要参詣する神社です。

○訪れる人を癒し、住む人を和ませて、「花のわがまちは美しき」をめざして労を惜しまず励みたいと思っています。



「花の窟神社」横の歩道の花壇

古道魚まち歩観会

●テーマ

“熊野古道のロマン”と“漁師まちの温もり”
とのふれあいがもたらすやすらぎの交流空間づくり

●主な活動

平成16年度

- ツツラト・荷坂峠部会(まちづくり団体)の設立
- 交流空間整備計画の策定
 - ・ ツツラト峠～荷坂峠に至る熊野古道を中心としたまちなかのまちづくり計画を策定。

平成17年度

- 空き屋の活用先進地調査
 - ・ 西長島地区の空き店舗、空き屋を活用したまちづくりのため、伊勢市河崎を現地視察
- 「西長島まちづくり景観交流会」の実施
 - ・ 景観の専門家を講師に迎え、西長島の景観まちづくりについて学習や検討を行った。
- 峠から西長島へ誘導する石道標、西長島まちなか案内サインの検討・設置（18年度も継続）
 - ・ 石道標や地元陶芸クラブと連携しながらマンボウ型陶板サイン（マップともリンク）を設置。
- まち歩きマップの検討・作成
 - ・ 西長島地区を散策するための「魚まちマップ」（日本語版及び外国人向け英語版）を作成。

平成18年度

- 「魚まち新聞」の編集・発行、ホームページ開設、QRコード活用による情報発信
 - ・ まちづくりの状況やまちの情報などを地域内外に情報発信。
- まちづくり先進地調査
 - ・ 近江八幡で活動しているまちづくりNPOとの意見交換会、まちあるきを実施。
- 縁台の検討・設置
 - ・ 西長島に訪来者への憩いやもてなしに、中学生や大工含む住民が縁台を製作・設置。
- 町中ガイド養成講座の検討・実施
 - ・ 地域住民を対象に熊野古道や紀伊長島の歴史・文化を勉強する連続講座を開催。



マンボウ型まち案内陶板



まちあるきの様子



中学生による縁台設置の様子

膳

●設立経緯・経過

離農で荒れ放題の休耕田が目立つ地域の有り様を見て、「なんとかして 活きた農地にしたい」との思いから有志で結成。

「膳」は禅（人の心）、善、繕の意味を持つ。

平成 13 年：結成、休耕田の景観保全活動

平成 15 年：マコモタケの栽培、熊野古道の整備

平成 17 年：熊野古道沿いの修景

現在会員数：5 名



トレードマーク

●主な活動・PR等

○大紀町大内山において、県道脇の公園の花壇の世話している。

○広範囲な活動として、休耕田や自然林の回復をしている。

○蕎麦を栽培して、蕎麦打ち試食体験やマコモタケの収穫試食会を実施している。

※ マコモは、健康食としても注目が集まっており、平成 18 年 11 月 28 日に熊野市商工会議所で行われた「まこも研修会」は非常に好評であった。

○世界遺産「熊野古道ツツラト峠」へ通じる遊歩道の保全、整備などを実施している。

○「膳」の活動は、エコミュージアムをスタートとしていろいろな活動を行ってきた。

○具体的な活動として、今後は、鹿や猪から田畑を守るために作っている魚網を利用した柵について、景観上の配慮のあり方を考えていきたい。

<トレードマークについて>

身を切るほどに冷ややかな清水と、緑の木々によって研ぎ澄まされた清浄な空気の中で、農業や化学肥料に極力頼らず、自然の力と私たちの愛情でひとつひとつ、丹念に育て上げたお米・野菜です。



「膳」のメンバー



「蕎麦打ち試食体験」の様子

東紀州地域活性化事業推進協議会

(4月1日より「東紀州観光まちづくり公社」に名称変更)

地域の自然・文化・産業等を活用した施策を推進することにより、東紀州地域の活性化を図ることを目的に、地域内の8市町村（当時）と三重県が共同で設立した組織であり、ホームページや各種パンフレット、ポスターなどにより、東紀州地域の様々な情報を発信するほか、地域の活性化を進める人材を発掘・育成する取組や地域の人々と連携した地域活性化の取組を実施しています。

取組内容

- 集客交流事業として：
 - ・情報誌、ラジオ等による地域情報発信、東京・名古屋・大阪・北九州へのエージェント・セールス、メディア交流会等への参加、ポスター・パンフレットによるPR、都市部における「みえ熊野講座」の開催
- 熊野古道の利便性の向上への取組みとして：
 - ・「語り部友の会」の運営、語り部ガイド養成講座の開催
- みえ熊野学事業として：
 - ・「みえ熊野学研究会」の運営、研究誌の刊行、みえ熊野学フォーラムの開催
- 人材育成事業として：
 - ・地域の各分野で地域リーダーとして実践している個人、団体の活動支援（東紀州活性化大学の取組など）

今後の取組みの方向

- 熊野古道周辺の地域資源の発掘
- 「海の熊野古道」を活かした観光交流への取組み
- エコツーリズム、地域内観光・宿泊の推進
- 市場調査、新商品の開発支援及び物産展開催等による販路開拓
- 「紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会」の運営



熊野学フォーラムの様子

風伝峠部会

●テーマ

風伝の“風”にのり、峠、千枚田、まちを巡り、
先人の知恵や歴史・文化にふれあう交流空間づくり

●主な活動

平成16年度

- 風伝峠部会(まちづくり団体)の設立
- 交流空間整備計画の策定
 - ・ 横垣峠～風伝峠～通り峠に至る熊野古道を中心としたまちづくり計画を策定。

平成17年度

- まち歩きマップの検討・作成
 - ・ 熊野古道の3つの峠（横垣峠、風伝峠、通り峠）を楽しめるまち歩きマップの検討・作成。

平成18年度

- 「熊野古道」歴史・文化勉強会
 - ・ 地域住民を対象にした熊野古道に関わる歴史・文化の勉強会を開催。
- 石道標の設置
 - ・ 通り峠周辺で古道来訪者を案内するための石道標設置。



紀南地域勉強会の様子



地域資源を確認している様子



石道標を設置している様子

馬越峠・尾鷲市部会

● テーマ

自然の恵みを受け継ぎ、
熊野古道とともにまちの賑わいと人の暮らしぶりにふれ合う交流空間づくり

● 主な活動

平成16年度

- 馬越峠・尾鷲市部会(まちづくり団体)の設立
- 交流空間整備計画の策定
 - ・ 馬越峠～八鬼山に至る熊野古道を中心としたまちなか(中井町～林町～矢浜)のまちづくり計画を策定。

平成17年度

- まち歩きマップの検討・作成
 - ・ 来訪者へのもてなしを視野に、まち歩きマップを作成。
- まちなか案内サインの検討・作成
 - ・ 設置箇所をまち歩きで確認し、来訪者に役立つまちなか案内サインを作成。
- まちなか景観委員会の開催
 - ・ 馬越峠～八鬼山に至る熊野古道を中心としたまちなか(中井町～林町～矢浜)の景観イメージの統一を図りながら、まちづくりの実践につなげるため、景観委員会を5回開催。
 - ・ 雁木、蔵、連子格子など熊野古道や尾鷲を感じさせる景観資源の再確認を行い、景観整備方針を検討した。

平成18年度

- 尾鷲市市街地のモニターツアーやキッズまち中ツアーの実施
- 案内サイン(いわれ看板、案内看板)を作成・設置
- イーゼルの設置及び製作イベントの実施(2月11日熊野古道センターオープンイベント)
- 中井町小冊子「なかいへいかな」を作成



まち歩きの様子



まち歩きマップ



イーゼル製作イベント

馬越峠・海山部会

● テーマ

“海・山・川”の魅力広がる権兵衛の
ふるさとへと招く交流空間づくり

● 主な活動

平成16年度

- 馬越峠・海山部会(まちづくり団体)の設立
- 交流空間整備計画の策定
 - ・ 始神峠～馬越峠に至る熊野古道を中心としたまちなか、銚子川沿いのまちづくり計画を策定。

平成17年度

- まち歩きマップの検討・作成
 - ・ 始神峠～馬越峠の歴史探訪コースのまち歩きマップ作成。
- まちなか案内サインの検討・設置
 - ・ 始神峠～馬越峠の歴史探訪コースについて、まちなか案内サインを設置。
- 始神峠～馬越峠の歴史探訪コースまち歩き
 - ・ 始神峠～馬越峠の歴史探訪コースについて、「海山熊野古道の会」と合同で実施。
- 熊野古道の発掘調査
 - ・ 試掘調査し、石畳の復元を検討。

平成18年度

- 桜に関する勉強会の開催及び先進地研修（静岡県河津町における桜の景観づくり）を実施
- 銚子川の景観向上活動として、河川流域周辺における花木植栽、清掃活動の実施
- 案内サインの作成
- 馬越峠・便ノ山地区モニターツアーの実施
- 銚子川流域散策マップの作成



案内サイン設置イベント



桜の植樹



まちなか案内サイン

松本峠・熊野市部会

● テーマ

“まちの原風景”から神々との出会いへといざなう

“癒し” “もてなし”の交流空間づくり

● 主な活動

平成16年度

- 松本峠・熊野市部会(まちづくり団体)の設立
- 交流空間整備計画の策定
 - ・ 松本峠～花の窟に至る熊野古道を中心としたまちなかのまちづくり計画を策定。

平成17年度

- まちかどギャラリーの開設
 - ・ 古民家を利用したギャラリーの開設や街道沿いの各軒先に、地域の写真などを展示。
- 景観委員会の開催
 - ・ 木本古道通りの道路修景とまちなみマナーづくりを検討するため景観委員会を開催。
- 干物屋における昔ながらの案内旗の設置
 - ・ 木本古道通りにある干物屋に昔ながらのぼりを設置。
- まち歩きマップを検討・作成
 - ・ 木本の歴史が楽しめる松本峠～花の窟までのまち歩きマップを検討・作成。
- 道標の設置（18年度も継続）
 - ・ 松本峠から花の窟にいたる古道通り沿いに石道標や木製道標を検討・設置。
- 史跡案内板の設置（18年度も継続）
 - ・ 松本峠から花の窟にいたる古道通り沿いの歴史・文化を紹介する案内板を検討・設置。
- トイレ案内陶板の設置
 - ・ 古道通り沿いで来訪者が利用できる民間のトイレを案内する陶板を検討・設置。

平成18年度

- まちの歴史を学ぶ勉強会の開催。
 - ・ 地域住民を対象にまちに残る歴史や逸話を勉強し、来訪者へのまちの紹介につなげる。
- 花の窟神社資料館・ギャラリーの設置
 - ・ 花の窟神社社務所に歴史・文化の資料等展示する資料館・ギャラリーを検討・設置。



まちかどギャラリーの様子



オリジナル散策マップ



まちあるきの様子

三重県トラック協会南紀支部

●設立経緯・経過

運送業に携わるものとして、毎日お世話になっている道路をきれいにしようと清掃活動を始めました。

活動開始：平成 13 年 8 月 1 日
実施頻度：1 回/月
現在会員数：20 名



● 主な活動・PR等

○毎月第 1 水曜日を「道路清掃の日」とし、担当区域である国道 42 号の歩道と駐車帯の清掃を定期的に行っている。

○道路の清掃活動は 9 年間継続しており、平成 18 年の 11 月で 100 回を突破した。



紀勢国道事務所広報誌「キーロード」より

○南紀地域 8 社の運送会社で結成しており、福祉活動や交通安全指導などを行ってきた。

○清掃活動を始めたのは、運転手たちが国道に散らかっているゴミや空き缶を見かねて、自主的にゴミ拾いを始めたことからである。

○今では運送関係者だけでなく、いろいろな分野の方も参加しており、地域運動に広がっている。



紀勢国道事務所広報誌「キーロード」より